

こだま



あの日を忘れない・・・

2011.04.11

撮影：石井病院 清水 弘二（宮城県石巻市／震災後の様子）

Contents

東日本大震災で被災された方々へ
謹んでお見舞い申し上げます。
一日も早い復興をお祈りします。

- ① 東日本大震災から一年・・・
- ② 放射線被曝について
- ③ 居宅介護支援事業所日誌
- ④ ジェネリック医薬品
- ⑤ お知らせ

静和会石井病院 病院理念

- 医療の本質を追求し、科学的、創造的かつ主体性のある医療を目指します。
- 「思いやり」「いたわり」「優しさ」を常に忘れず、豊かな人間性で患者さんの主体性を尊重した医療を実践します。
- 保健、医療、福祉との連携を密にし、地域住民に愛され信頼される医療チームを構築します。
- ノーマライゼーションの視点に立ち、社会のニーズに応じた医療を提供します。

東日本大震災から一年・・・

五病棟看護主任 災害支援ナース

清水 弘二



二〇一一年三月一日十四時四六分東北地方太平洋沖地震とそれに伴い発生した大津波、および、その後の余震により大規模な地震災害が引き起こされた。

その規模は日本における観測史上最大のマグニチュード9を記録。震源域は岩手県から茨城県沖までの南北約五〇〇km、東西約二〇〇kmの広範囲に及び世界が驚愕した。この未曾有の大震災は、のちに政府により「東日本大震災」と名称が発表され、その呼称も各メディアで統一されることとなる。

誰もが「何か手助けをしてあげたい」「自分に何が出来るだろう」と感じたと感じた瞬間でもあった。

私は日本看護協会（JNA）が一九九五年の阪神淡路大震災後に発足させた「災害支援ナース」という制度の研修会を受け、災害支援ナースとして登録していたひとりであ

ったため、要請があれば被災地へ行って看護職として「役に立ちたい」という思いと「何が出来るだろう」という不安を同時に抱えたことを今でも覚えていきます。

実際に支援要請があり、四月初旬、宮城県石巻市の住吉中学校の避難所に災害支援ナースとして派遣されることとなり、大変貴重な経験をさせて頂きました。当然、家族や友人、そして職場の上司・同僚など、私に関係する様々な方々の協力がなければ経験することが出来なかったことだと、今でも感謝の意で一杯です。

今なお被災地の方々は大変な生活や環境の中で復興へ向け歩を進めているわけですが、「自分ではどうだろう」と問いかけたときに、震災前の生活と何ら変わりのない日常を送っている自分に気が付きません。風化していつてるよう感じます。

被災地へ実際に足を運び、あの凄まじい光景を目にし、被災者と触れ、避難所生活を体感した私でもそういった感覚を覚えることがありません。

東日本大震災から一年が経過しようとしている中で、あの時「自分に何が出来るだろう」と感じたように、「今、私ができること」を今一度考え、震災での体験をフィードバックして言語化し、風化させないこと、国の施策に関心を持ち、一国民として見解を明らかにして（消費税や公務員改革などに対して）義務を果たしていくことなど焦点を絞って日々の生活を送っていきたくと考えます。

一瞬にして大切な家族や友人、その他の多くのものを失いながらも生に向け歩んでいる同胞がいることは紛れもない事実です。

今の世代の我々が出来ること、しなければならぬことなどを政治のように次世代へ先送りにするのではなく、具現化すべきだと強く考えます。



居宅介護支援事業所日誌

自宅でいつまでも生活したいという思いは、年齢を重ねても共通の願いだと思います。そんな願いを叶え、自宅での生活を継続している利用者を紹介します。

Yさんは、H22年秋に当院2病棟から退院。当事業所とのかかわりが始まりました。約半年間の入院、一人暮らしで、糖尿病を患い、入院前には低血糖で自宅内で倒れていることが多かった、日時の感覚も曖昧…。自宅での一人暮らしにはあまりの課題が大きく、食事確保と本人の安全確保のため、毎日の訪問介護、週二回のデイサービスの利用から生活が始まりました。

退院後の一年間は入院こそしないものの、「ねずみに入れ歯を持っていかれた」と数度入れ歯を紛失したり、友人と飲酒し（本人談「ビールぐらいじゃ酔わないよ」）、自宅で動けなくなったり、「飼い犬の鳴き声がうるさいから」と、網を外して逃がし、新ひだか町役場生活環境課、保健所、静内警察署の連携で、無事に戻されるが、もう一度逃がしてしまうなど課題には事を欠かない生活を送っていました。

この二月、残念ながら愛犬も亡くなり、Yさんからは「やっぱり寂しい」と話すこともあります。現在ではYさんのペースで日常生活を続けています。

Yさんもいつかはきっと自宅での一人暮らしが困難になるところがあると思います。そのときに、Yさんが「今まで自宅で生活できてよかった」と思っていただけのように、Yさんの生活状況を把握しながら、関係機関と連携し支援を継続したいと思います。



居宅介護支援事業所 西田 賢司



薬剤師 五十嵐 聚子

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師や薬剤師にご相談ください。

放射線被曝について

5月17日

福島原発の事故以来、国民の放射線被曝への関心が高まっています。放射線被曝は全身被曝と部分被曝に分けられ、原発の事故の場合には全身被曝になり、医療機関で受ける放射線検査・治療の場合は部分被曝（放射線を当てる範囲が最大で30cm×40cmくらい）になります。人体への影響は同じ被曝量でも全

身被曝の方が部分被曝よりかなり大きい為、安全とされる目安も影響が出る被曝量よりかなり低く法律で決められています。一方医療被曝について安全基準はないのですが、1回あたりが短時間の検査（X線やCT）の場合は複数回受けたとしても、人体への影響はほとんどありません。とはいえ放射線被曝について不安や疑問に思うことがありました

ら、お気軽に著者までお尋ねください。

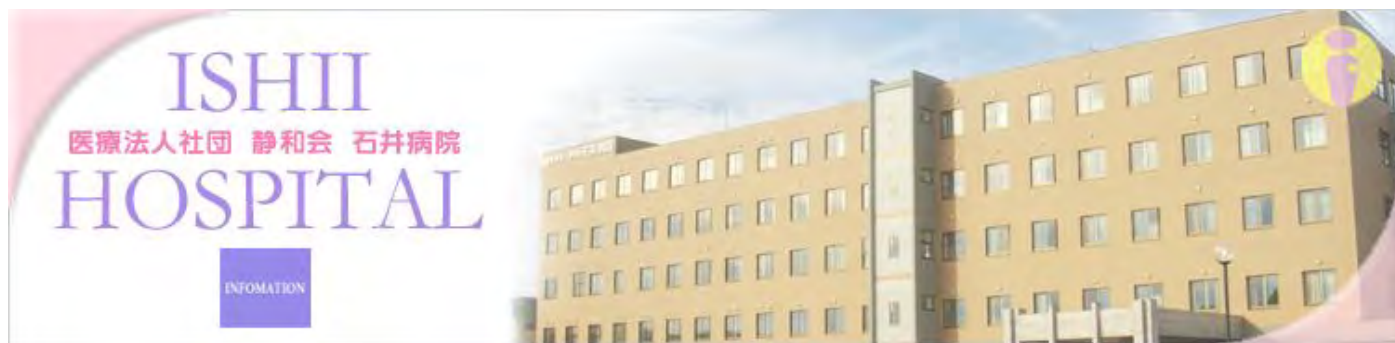
診療放射線技師 村田 薫



ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許期間が過ぎたあと、他の製薬会社から発売される

成分、効果、効能が同じ医薬品（後発医薬品）のことをいいます。新薬の開発製造は高額な研究開発費がかかりますが、後発医薬品は研究開発費がかからずに製造できるため、薬価が安くなります。政府は医療費抑制施策として、後発医薬品の普及を推進しています。厚生省は後発医薬品普及を目的に診療報酬への加算を中心に施策を実施しています。調剤報酬改定で、調剤薬局で先発医薬品から後発医薬品への代替調剤が可能となりました。



4月1日より外来の高額療養費の現物給付化が始まります！

現物給付化とは、医療費の負担が重くならないよう、医療機関や薬局の窓口で支払う自己負担額が、1か月（暦月：1日から末日まで）単位で一定額を超えた場合に、その超えた金額を助成する「高額療養費制度」のことです。

これまでの高額療養費制度の仕組みでは、入院される方については、「認定証」などの提示により、窓口での支払いを自己負担限度額にとどめることが可能でしたが、外来診療では窓口負担が限度額を超えた場合でも、いったんその額をお支払いいただいております。

平成24年4月1日からは、外来診療についても「認定証」などを提示すれば、自己負担限度額を超える分を窓口で支払う必要はなくなります。

この制度を受けるには、事前に「認定証」を取得していただく必要があります。認定証の交付手続きについては、ご加入の市町村（国民健康保険・後期高齢者医療制度）、または健康保険組合、協会けんぽ、などにお問い合わせください。



横断幕の紹介

***** 外来担当医表 *****

精神科外来

受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:45~12:00	林	松野	林	石井	札医	休診
午後 13:30~15:00	林	札医	松野	石井	松野	休診

もの忘れ外来

毎週月曜日

午後 1:30~3:00	石井 隆司
--------------	----------

予約制です

内科外来

午後 1:30~3:00	隔週 金曜日 2回/月	石井 幸司
--------------	-------------	----------

昨年10月に作成いたしました石井病院の横断幕です。東日本大震災もあり「絆」という言葉が昨年を代表する漢字にもなりました。

いち早く掲げた石井病院発の「絆」。大切な人や地域と共に「絆」を大切に歩んでいきます。

編集後記

気が付けばもう三月となりました。だんだん暖かくなってきましたが、今年は雪が多く、まだまだ寒さは続きそうですね。インフルエンザも流行っているため、気を抜かず手洗い・うがいを心がけてください。

編集委員 美馬 雅俊

編集/発行 平成24年3月15日発行

医療法人社団 静和会 石井病院 編集委員会

〒056-0022 日高郡新ひだか町静内高砂町3丁目3-1

TEL(0146)42-3031 FAX(0146)43-3389

ホームページ: <http://www.ishii-hp.jp/>

編集委員長 中村美鈴



医療法人 静和会 石井病院